

評議会は排撃の態度をとり、政治的意見の対立相違を生じ、同分々又各部
 設置地につき肉争肉面双方の奪り合ひの形勢をなし、私製的傾向を深めざる。
 中野地元の主張(評議会)により、各部を各々屋敷の設置を認め、成って同席を落すこと
 得ず。オニ回全国大会を各々屋敷に於て開催することを成した。

總評議会は合法的左翼主義にて非合法的な全協と対立しつつも強固に同い
 線と歩むものなり。同階級にも、プロレタリアの方針を支持するものもあつて、
 共産主義系合法組合として最も左翼の地位を占めるものもある。今創立大会に於
 て決定を以て細候と示せば左に如くである。

細候

一、日本労働組合總評議会は全労働者の労働条件の維持改善の為に